

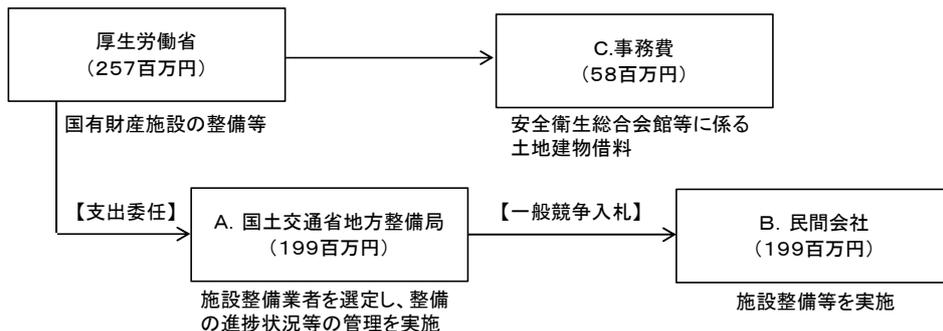
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	安全衛生施設整備等経費		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和23年度		担当課室	計画課		井内 雅明		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全衛生施設については、化学物質の有害性調査や安全衛生教育に従事する指導員の養成等の安全衛生施策を推進するための施設として国が設置したものである。これらの施設は経年劣化が進行している状況にあるため、必要な修繕等を行うことにより当該施設が有効に利用され、もって安全衛生施策の推進に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全衛生施設の特別修繕については、施設が毎年実施する保全実態調査及び国土交通省による実態調査等により、重要度・緊急度等を調査した上で、施設を適切に運営できるよう、特別修繕が必要なものを計画的に概算要求し、実施しているものである。平成25年度においては、化学物質についての動物の長期吸入有害性調査等を実施している日本バイオアッセイ研究センターの施設整備等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他(国土交通省へ支出委任)							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		119				
		繰越し等	26					
		計	285	395	274	238	542	
	執行額	261	332	257				
	執行率 (%)	92%	84%	94%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事を実施し、同センターの主たる業務である動物による短期・長期吸入試験を円滑に行う。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事に関し、予算の範囲内で、かつ、予定工期内に執行されるよう、国土交通省との調整を進め、支出委任を行う。		活動実績		—	—	—	—
			(当初見込み)		—	—	—	—
単位当たりコスト	—		算出根拠		—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	0.6	1	安全衛生総合会館に係る改修工事に要する経費の増				
	施設施工庁費	84	3					
	土地建物借料	70	70					
	施設整備費	83	469					
	計	238	542					

事業所管部局による点検					
	項目			評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であるため、優先度は高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	施設の設置者である国が修繕を実施すべきものである
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であるため、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札で支出先を選定しており妥当である。
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出しており、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			—	—
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	—
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	国土交通省への支出委任により工事を実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—	—
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	経年劣化した施設を整備することにより、労働災害防止に係る調査・研究等が円滑に実施されている。
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	—
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点検結果	<p>本事業については、国土交通省担当部局と調整し、支出委任を適切に行った結果、予算の範囲内で工事が完了するとともに、短期・長期吸入試験を円滑に実施することができたことから、成果目標及び成果指標を達成することができたものと思料する。</p> <p>今後の安全衛生施設の施設整備においても、重要度・緊急度等を調査した上で、厳選して優先度の高いものを計画的に概算要求し、実施する。</p> <p>また、支出委任先が実施する工事の施工業者の選定方法、進捗状況、執行状況について、適宜報告を求め、適切な予算の執行となるよう努める。</p>				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	職場における化学物質の有害性調査や安全衛生教育に従事する指導員の養成等を行うための国の施設を修繕するための事業であり、国の実施状況を把握し、事業推進を実行するなど、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年	970	平成24年	816

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

安全衛生施設整備等経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国土交通省関東地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国有財産の整備に係る工事費	268			
計		268	計		0
B.第一工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国有財産の整備に係る工事費	194			
計		194	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東地方整備局	日本バイオアッセイ研究センター改修工事	268		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第一工業(株)	日本バイオアッセイ研究センター(12)機械設備改修その他工事	194	1	98.3%
2	(株)蒼設備設計	日本バイオアッセイ研究センター外(12)設備改修設計業務	3	6	96.6%
3	日和エンジニアリング(株)	平成24年度当繕建築設備積算業務	0.8	2	98.2%